

放置された里山の間伐で景観を取り戻した事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：甘日市市

取組のきっかけ・経緯

・団地造成以降、手入れのされていなかった山林について、地域住民から整備してもらいたいと要望があった。

今後の展開

・周囲には依然として長期間手入れのされていない山林が残っているため、地域住民と相談しながら、継続して整備を進めていきたい。

取組の内容

- ・事業主体：甘日市市
- ・実施場所：甘日市市阿品
- ・業務委託先：佐伯森林組合
- ・業務量：0.79ha
- ・業務金額：1,287千円
- ・業務期間：令和元年11月22日
～令和元年12月27日

取組後の感想

【良かった点】

- ・事業実施後は、見晴らしが改善され、瀬戸内海を見渡すことができるようになった。
- ・散歩中の市民の方も、「数十年ぶりにいい景色を見れるようになった」と喜んでいった。

【悪かった点】

- ・景観を保全していくため、今後は地域の町内会で下草刈り等を実施してもらえとのことであり、山林内を動きやすいよう、伐採木等を棚積みする場所を工夫した方がよかった。



地域住民による里山の活用を推進した事例

事業名：里山活用・保全活動支援事業

市町名：廿日市市

取組のきっかけ・経緯

・平成29年度に地域住民による里山林の保全を目的として発足した浅原里山保全隊の、令和元年度における継続活動に対し、補助を行った。

取組の内容

- ・事業主体：浅原里山保全隊
- ・実施場所：廿日市市浅原地域
- ・活動内容：里山林の整備
林産物の栽培
- ・事業費： 402千円
- ・補助金額：400千円
- ・事業期間：令和元年10月15日
～令和2年3月30日



今後の展開

- ・地元住民を積極的に勧誘し、里山林の整備を促進していきたい。
- ・林産物の栽培量を増加し、収入を増やしていきたい。
- ・他の地域の団体と交流を深めていきたい。

取組後の感想

【良かった点】

- ・地元住民に、しいたけの原木を提供したところ好評だった。
- ・長年放置されている里山林の整備を行うことで、森林の公益的機能の回復を図ることができた。

【悪かった点】

- ・団体の活動計画を作成し、活動回数を増やしていく必要がある。

